

2023

令和5年5月25日

第13号

(通算59号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

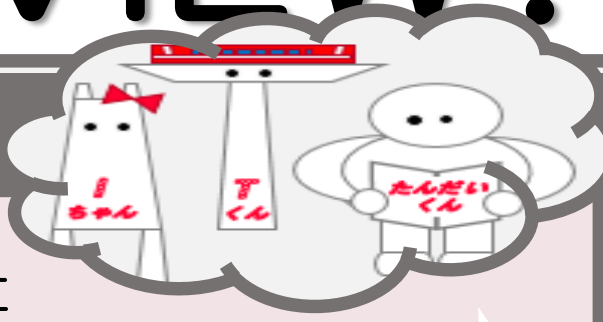
IT短大VIEW!

2026年、県立IT短大は「大学校」に変わります。



1 就職合格、嬉しい報告!

本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。この分野で躍進する「株式会社ソフィア」に合格したのは、増山すみれ（水戸商高卒）さんです。



4 「Bravo 茨城!」⑤

陶炎祭を見学!

今日は陶炎祭にやってきました。日本で初めての祭りの体験となりました。今まで、陶器の技術については全く分からなかったのですが、この日にたくさんの綺麗な陶器を見てすごく感動しました。
この体験から陶芸家は美しい陶器を作るのに、何年か何十年かをかけて自分の腕を磨くのでしょうか。



レポートするシハブさん



【英語】 I came to the Touen Matsuri. It was my first time to experience a festival in Japan. I had no idea about the art of pottery before, but I was very impressed to see so many beautiful ceramics on this day. From this experience, I know that potters spend years and decades honing their skills to create beautiful ceramics.

株式会社
ソフィア



増山すみれさん

- Q1 IT活用と抱負?
A1 「自身のコミュニケーション能力を活かし、お客様に寄り添うIT技術者を目指します」
- Q2 あなたの趣味は?
A2 「TRPGにはまっています」
- Q3 学びと成果は?
A3 「多くの実習を通して、より高度な専門知識を学ぶことができました」

2 AI活用、能力定着に不安

本校教員の佐藤秀昭氏は、学生の生成型AI利用について調査を進めています。

調査では、①生成AIを使った情報検索とその真偽、②生成AIを使った課題作成です。

その結果、①では、学生が感じる検索結果の信頼度は31.3%と低いものでした。また、②では、ある程度実践的な課題作成ができており、学生からは「人間の考える力や、能力の定着に不安を感じる」との声が多くあったとのこと。佐藤氏は、自分なりの価値観や、論理的思考力、リテラシーの醸成とが重要と話していました。

「Chat GPTとの今後の付き合い方」
高等学校教員対象に開催される、下記、本学の大学校化の説明会時に、表記テーマの取組みについてご紹介します。

記

1期 日：令和5年6月2日(金) 14:00~15:30

2会 場：茨城県立IT短大、大教室

3連絡先：029-269-5500 佐藤



生成型AIに関する報告会の様子

3 みんなの母校訪問④

県立水戸商業高等学校は、明治35年に開校し、今年で創立121年を迎える県下有数の歴史と伝統のある高校です。

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一翁も訪れ、若者を前に経済と道徳の調和について講演を行っています。

山本俊之校長は「変化を前向きに受け止め、自分の価値をしっかりと自覚して活躍して欲しい」とエールを頂きました。

また、野呂昌也教諭と内山敏昭教諭は、本校の今後の大学校化と、地域高校との連携に期待したいと話されていました。

県立水戸商業高等学校



野呂昌也教諭、山本俊之校長、内山敏昭教諭（左から）



旧本館玄関



本校舎

ITから
創造した
未来へ



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500